

【工事記録参考様式】

(記載例)					
<u>工 事 記 録</u>					
工事名: 令和〇年度 〇〇交付金砂防工事 〇〇沢 〇〇町					9月分
日	曜日	天気	気温	作業内容	備考
1	月	晴れ	25℃	本堤掘削、残土搬出	第3回施工計画書提出
2	火	晴れ	25℃	本堤掘削、残土搬出	本社パトロール(終日)
3	水	晴れ	24℃	本堤掘削、残土搬出	監督員来現、施工状況確認
4	木	晴れ	23℃	本堤掘削、残土搬出 水替工設置(本堤)	
5	金	晴れ	25℃	本堤掘削、残土搬出 水替工設置(本堤)	
6	土	晴れ	23℃	本堤掘削、残土搬出 水替工設置(本堤)	
7	日			休業	
8	月	晴れ	24℃	本堤掘削、残土搬出	
9	火	晴れ	22℃	本堤掘削、残土搬出	関係者協議(残土処理場権者)
10	水	雨	21℃	本堤基面整正、平板載荷	段階確認(床掘)、監督員来現
11	木	晴れ	21℃	安全施設整備	床掘出来形確認
12	金	晴れ	21℃	作業ヤード整備	平板載荷試験結果報告
13	土	晴れ	22℃	本堤型枠準備	PM安全教育(元請4名、下請6名参加)
14	日			休業	
15	月	雨	21℃	本堤型枠Aブロックのリフト	
16	火	晴れ	18℃	本堤型枠Aブロックのリフト、打設クレーン設	段階確認(型枠)、監督員来現
17	水	曇り	19℃	本堤AブロックのリフトCo打設(50m ³)	
18	木	小雨	17℃	本堤型枠Bブロックのリフト	
19	金	晴れ	18℃	本堤型枠Bブロックのリフト	段階確認(型枠)、監督員来現
20	土		18℃	休業	
21	日		19℃	休業	
22	月	晴れ	20℃	本堤BブロックのリフトCo打設(50m ³)	
23	火		21℃	休業	
24	水	晴れ	13℃	本堤型枠Bブロックのリフト	指導監査
25	木	晴れ	12℃	本堤型枠Bブロックのリフト	段階確認(型枠)、監督員来現
26	金	晴れ	13℃	本堤BブロックのリフトCo打設(70m ³)	
27	土	晴れ	14℃	本堤型枠Aブロックのリフト	
28	日		14℃	休業	
29	月	曇り	13℃	本堤型枠Aブロックのリフト	協議 本堤品質管理について
30	火	雨	14℃	本堤AブロックのリフトCo打設(45m ³)	監督員来現、本堤Co打設状況確認
<p>・「気温」欄は午前9時の現地の気温を記録する。</p> <p>・施工計画書(変更含む)、施工体制台帳(変更含む)の提出は「作業内容」欄に記載する。</p> <p>・「備考欄」には、来現者名、指示事項等ならびに新規入場者教育、安全教育、安全パトロール等安全管理の実施状況を記載する。</p>					

【工事打合せ簿参考様式】

参考様式は、従来の様式を時点修正するとともに、利便性に配慮し、下記の点を見直した。

- ① 「打合せ事項」欄に発議者を明示するチェックボックスを設けた。
- ② 「打合せ事項」、「処理事項」欄下部の行為区分について、長野県土木工事共通仕様書のH26. 8. 1改定による「用語の定義」の変更を反映した。

なお、「提示」「連絡」については工事打合せ簿の提出を要しない。

(参考様式) 工事 打合せ簿		所 長	総 括 監 督 員	主 任 監 督 員	監 督 員
事 業 名			工 事 箇 所 名		
請負金額	千円	工 期	平成 平成	年 月 日 年 月 日	変更工期 平成 年 月 日
打合せ関係	打合年月日	平成 年 月 日			
	立会者	発注者 受注者			
指示事項					
発注者→受注者					
打合せ事項 (協議事項)	1. 当初契約 2. 設計図書 3. 測量 4. 準備工 5. 用地補償				
	6. 本工事 7. 附帯工及び補償工事 8. 安全管理 9. 仮設工 10. 検査 11. 品質管理 12. 写真 13. データ資料 14. 出来高 15. 完成時 16. その他				
打合せ事項			処 理 事 項		
発議者	<input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 受注者				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 発議者を明記 </div>					
			・H26. 8. 1 適用の共通仕様書「用語の定義」と整合。 ・「提示」「連絡」は提出対象としない。		
上記について	上記について				
指示 協議 提出 報告 通知	了解 承諾 協議 提出 報告 通知 受理				
その他 ()	その他 ()				
します。	します。				
確認しました。	確認しました。				

【段階確認を受ける書面の参考様式】

工事施工における規定の段階において、段階確認を実施する。

段階確認を受ける書面については、検査記録表（設計値と検測値との誤差を対比させたもの）を使用することができる。

受注者は、段階確認に臨場するものとし、監督員等の確認を受けた書面を工事しゅん工時まで監督員等へ提出しなければならない。

- ・本様式は平成26年10月時点作成の様式例である。
- ・共通仕様書1-1-1-24-6「段階確認」で監督員等の確認を受ける書面として使用できる。
- ・検測区分欄を新たに設けた。
- ・段階確認時、監督員は判定欄に確認月日を記載するとともに、サインまたは押印して確認したことを証する。段階確認以外で本表が作成された場合、監督員等のサインまたは押印は不要である。

検査記録表

工事名	平成〇年度 〇〇交付金工事				所長	総括監督員	主任監督員	監督員
工事箇所	県道 〇〇線〇郡〇町〇工区							
工種	ブロック積 コンクリート基礎工							
種別	コンクリート出来形				主任技術者		印	

検測位置図		記入例		
		管理基準		
		項目	-mm	+mm
		基準高	30	30
		幅 W	30	
高さ h	30			
延長	200			

段階確認であることを明示する。段階確認の場合、監督員等はサイン・押印により確認の事実を証するが、段階確認以外の場合、サイン、押印は不要。

検測区分				(いずれかに○)				<input checked="" type="radio"/> 段階確認 <input type="radio"/> 出来形管理(段階確認以外) <input type="radio"/> その他()			
測点	設計	検測	誤差	日付	判定	測点	設計	検測	誤差	日付	判定
基準高						高さh					
NO5+10	356.920	356.931	+11	1/20	1/21 ○○	NO5+10	300	297	-3	1/20	1/21 ○○
No7	357.520	357.525	+5	1/20	1/21 ○○	No7	300	305	+5	1/20	1/21 ○○
No9	358.320	358.314	-6	2/1	2/3	No9	300	313	+13	2/1	2/3
No10+6.5	358.850	358.866	+16	2/1	○○	No10+6.5	300	299	+1	2/1	○○
幅W						延長 (m)					
NO5+10	520	531	+11	1/20	1/21 ○○	NO5+10					
No7	520	525	+5	1/20	1/21 ○○	No10+6.5	96.500	96.590	+90	2/1	○○
No9	520	537	+17	2/1	2/3						
No10+6.5	520	530	+10	2/1	○○						

日付欄は受注者が確認した日付を記入。判定欄は監督員が確認した日付を自署し、サインまたは押印により証する。